

私立

大阪医科大学

問合せ先 入試・広報部

☎569-8686 大阪府高槻市大学町 2 番 7 号

☎(072) 684-7117 <http://www.osaka-med.ac.jp/>

教育目標&特色

昭和 2 年に日本で最初の 5 年制医学専門学校である大阪高等医学専門学校として創設され、高い知性と豊かな感性を兼ね備え、変化する社会に積極的に対応し得る能力と、生涯を通じて最新の医学医療知識を摂取し最高の医療技術を保持しようとする意欲を有し、最善の医療を目指す、創造性に富む人材を育成することを教育の理念としている。大学コンソーシアム大阪・京都に参加しており、大阪地区の 36 大学、京都地区の 46 大学で履修した科目は単位互換制度により卒業単位として認められる。医学以外の分野、他大学・他学部の学生と学べることは貴重な体験となっている。国際交流面では、国際交流クリニカル・クラークシップなど多彩なプログラムがあり、在学中に国際的な視野を獲得する学生が少なくない。

カリキュラムの特色

2017 年度からグローバルスタンダードに対応した新しいカリキュラムがスタートした。入学すると、最初の 1 年次には、人間科学、スポーツ健康科学、臓器発生学、細胞生物学、医学概論など、人と自然との関係性や、命とは、といった生命現象について考える科目が多く配置されているほか、早期体験実習も行う。2 年次には基礎医学が始まり、人体構造実習(解剖)、分子生物学、生理学及び実習、生化学及び実習、早期体験実習などを履修。正常とは何か、病気とは何か、人の体の中で何が起こっているのか、などについて深く学んでいく。3 年次は、2 年次までに学んだ人体の構造や機能、病気の成り立ちといった基礎医学の知識をベースに臓器別に臨床医学を学ぶ 1 年間で、アクティブラーニングでは、循環器、腎・尿路、呼吸器、消化器、血液、内分泌・代謝、アレルギー・免疫、皮膚といった臓器にスポットを当て、臓器・器官別に正常・異常、予防、診断、治療を全方位から学び、具体的症例を討論・検討して、医師に不可欠な臨床力、臨床推論力を身につける。4 年次のアクティブラーニングは、3 年次から続く臓器・器官別コースに、妊娠出産、成長発達、思春期・ホルモン、加齢・高齢者、精神・行動、地域・産業保健といったライフステージ別コースが加わり、人の一生を視野に入れて、それぞれのステージにける医療を学び、高度先端医療とともに地域医療にも対応できる基礎力を養う。同時に、全人的に診る視点を獲得しながら、医師にとって最も重要な問題の本質を発見する能力を磨き、4 年次の 1 月からコア・クリニカル・クラークシップ(臨床実習)をスタートさせる。5 年次は、コア・クリニカル・クラークシップ(臨床実習)を継続して行い、附属病院の全 29 科を 44 週間かけて回る。この実習は臓器別に大きく 13 のコースに分けられ、消化器なら消化器コースとして診療科の壁を取り払い、内科・外科を連動させて行う。これは診療参加型の実習でもあり、指導医監修のもと、患者を担当し、診断から治療に至る医行為を経験する。6 年次には、22 週間にも及ぶアドバンスト・クリニカル・クラークシップ(選択臨床実習)があり、基本的には外部の病院や医療施設で実習する。このほか、春休みや夏休みを利用して海外に留学して行う国際交流クリニカル・クラークシップもあり、希望者は参加できる。6 年次の終わりには総合試験(卒業試験)があり、その後、医師国家試験を受験する。

大学 DATA

- ◆沿革 昭和 2 年創設の大阪高等医学専門学校が前身。昭和 21 年に旧制の大阪医科大学となり、昭和 27 年に新制の大阪医科大学医学部となった。
- ◆学部所在地 *本部キャンパス＝問合せ先に同じ。アクセス 阪急京都線高槻市駅下車、①番出口からすぐ。JR 京都線高槻駅下車、徒歩 8 分。
- ◆学部学科・定員 医学部＝医学科 112 名
- ◆大学院 医学研究科＝医学専攻 54 名
- ◆おもな附属施設 大阪医科大学病院、大阪医科大学三島南病院、健康科学クリニック、大阪医科大学歴史資料館、中山国際医学医療交流センター、関西 BNCT 共同医療センターなど。
- ◆学寮 設置していない。

参考資料**●医師国家試験合格率**

区分	全 体				新 卒				既 卒			
	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率
2017	127	124	100	80.6%	121	119	97	81.5%	6	5	3	60.0%
2016	114	106	100	94.3%	104	97	93	95.9%	10	9	7	77.8%
2015	128	125	115	92.0%	110	107	101	94.4%	18	18	14	77.8%

●学校納付金(2018 年度)

区 分	入学手続時	初年度総額	2 年次以降
入学金	1,000,000 円	1,000,000 円	-
授業料	640,000 円	1,880,000 円	1,880,000 円
実習費	120,000 円	345,000 円	345,000 円
施設拡充費	420,000 円	1,260,000 円	1,260,000 円
教育充実費	2,000,000 円	2,000,000 円	1,500,000 円
合 計	4,180,000 円	6,485,000 円	4,985,000 円
6 年間総計	31,410,000 円		

* 研究医枠は教育充実費の全額と授業料の半額を免除する。

* ほかに諸会費(保護者会費・学友会費)が必要になる。

* 入学手続き終了後に任意の寄付金を募集する。

●特待生制度

一般前期 1 次試験合格者上位 100 名のうち入学手続きを行う者は、施設拡充費 420,000 円、教育充実費 2,000,000 円を免除する。

●奨学金制度

日本学生支援機構奨学金のほかに、大阪医科大学四方朋子記念奨学基金(年額 300,000 円を給付)、大阪医科大学仁泉会奨学金(年額 600,000 円程度を貸与)、大阪医科大学鈎奨学基金(年額 500,000 円を給付)、大阪医科大学伊藤奨学金(年額 600,000 円を給付)、大阪医科大学医学部奨学金(年額 1,700,000 円程度を貸与)などがある。

2018 年度入試要項

募集人員

区分	一般前期	一般後期	セ試利用	地域枠	研究医	推薦	A O	編入学
医学科	85	15	5	2	2	3	-	-

* 大阪府地域枠は大阪府内の高校あるいは本人または保護者が大阪府内に居住する者で、大阪府が指定する救急医療や周産期医療に従事する意志のある者が対象。

* 研究医枠は基礎医学研究者・社会医学研究者を目指す者が対象。

試験日程

試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
一般前期	1次試験	12月11日～1月12日	1月28日	2月9日	
	2次試験		2月14日	2月16日	2月23日
一般後期	1次試験	12月11日～2月28日	3月10日	3月15日	
	2次試験		3月19日	3月20日	3月27日
センター利用	センター試験	9月26日～10月6日	1月13日・14日	2月16日	
	2次試験	12月11日～1月12日	2月28日	3月1日	3月8日
建学精神	1次試験	10月24日～11月2日	書類審査	11月15日	
	2次試験		11月19日・26日	12月7日	
	センター試験		1月13日・14日	2月7日	2月15日

* 大阪府地域枠・研究医枠は一般前期と同日程で行う。

* 入学辞退者の学費返還申出期限は3月30日。

* 2次試験合格発表時に補欠者を発表し、欠員が生じた場合、順次繰上げ追加合格者を発表する。

一般入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
1次試験	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(列べ)。	100	100
	理 科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	200	120
	外国語	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。	100	80
2次試験	小論文		-	-
	面 接	前期は集団面接、後期は個人面接。	-	-

センター利用入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
センター試験	国 語	国。	100	80
	地歴・公民	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫政経→1。	50	60
	数 学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数Bの計2。	各100	各60
	理 科	物、化、生→2。	各100	各60
	外国語	英(リスニングを含む)。	200	80
2次試験	小論文		-	-
	面 接	個人面接。	-	-

大阪府地域枠入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
1次試験	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(列べ)。	100	100
	理 科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	200	120
	外国語	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。	100	80
2次試験	小論文		-	-
	面 接		-	-

研究医枠入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
1 次試験	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(列べ)。	100	100
	理 科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	200	120
	外国語	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。	100	80
2 次試験	小論文		-	-
	面 接		-	-

建学の精神入試(推薦入試)

①推薦条件＝本学で学ぶことを強く希望する現役。②選考方法＝1次選考(書類審査)の合格者に2次試験(小論文と2回の面接)を課し、センター試験(セ試利用入試と同じ5教科7科目)の成績を総合して合否を判定する。センター試験は得点率が80%以上であることが必要である。〈センター試験〉◇国語＝国。◇地歴・公民＝世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫政経から1科目選択。◇数学＝数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数Bの計2科目。◇理科＝物、化、生から2科目選択。◇外国語＝英(リスニングを含む)。学力のみならず、高校までに取り組んだ活動、医学に対する姿勢や熱意、多職種連携に必要なコミュニケーション力、医学を学びたいという意欲等を総合的に評価する。

*** 合否判定** 一般・地域枠・研究医枠は1次の合格者に2次を課す。センター利用はセンター試験の合格者に2次を課す。いずれも判定条件は非公表。

*** 試験場** 一般・地域枠・研究医枠＝1次は前期が大阪(関西大学千里山キャンパス)・名古屋(河合塾名駅キャンパス名古屋校)・東京(大手町サンケイプラザ)、後期が大阪(河合塾大阪校S館)・名古屋(河合塾名駅キャンパス名古屋校)・東京(大手町サンケイプラザ)、2次は本学本部キャンパス(阪急京都線高槻市駅下車。JR京都線高槻駅下車、徒歩8分)。センター利用＝2次は本学本部キャンパス。建学の精神入試＝2次は本学本部キャンパス。

*** 受験料** 一般 60,000 円、センター利用 32,000 円、地域枠 60,000 円、研究医枠 60,000 円、建学の精神入試 32,000 円

入試のポイント

来春の試験日は、一般前期・地域枠・研究医枠の1次が埼玉医科大前期2次、北里大(一般・地域別)2次のほか相手校の受験日によって国際医療福祉大2次、順天堂大(A方式・地域枠)2次と重複、2次は帝京大セ試利用2次、福岡大(一般・セ試利用)と重複する。一般後期の1次は昭和大Ⅱ期2次と重複するが、2次は重複校がない。セ試利用の2次は日本医科大後期1次と重複する。

入試科目は、一般・地域枠・研究医枠の1次が数学・理科・英語の3教科、2次は小論文・面接。数学は大問5題で、いずれも数個の小問からなっている。すべて記述式。物理は力学、電磁気、波動などから基本的な問題を出題。幅広い分野からまんべんなく出題されるので、苦手な分野を作らないことが重要。化学は、化学反応についてうわべの暗記ではなく本質的な理解を問う問題が出題される。実験に関連した問題も必出。生物は、高校の教科書レベルの知識があれば解答できる問題が多い。英語は語彙や語法を豊富にしておくこと。そのためには英文をたくさん読んでおくことが重要になる。3教科とも教科書中心に基礎を固め、参考書等で高度な応用力をつけておきたい。

2017 年度入試DATA

●入学者選抜実施状況

区分	募集人員	志願者	受験者	1次合格	2次受験	正規合格	補欠者	補欠合格	合格者	競争率	入学者
一般(前期)	89	1,956	1,701	205	*	156	*	*	*	10.9	113
一般(後期)	15	817	663	40	*	17	*	*	*	39.0	
セ試(前期)	5	434	430	100	*	30	*	*	*	14.3	
セ試(後期)	3	58	58	29	*	3	*	*	*	19.3	

* センター利用(後期)は 2018 年度から廃止し、建学の精神入試(推薦入試)を導入。

* 補欠者、補欠合格者は非公表。

【合格者の成績】

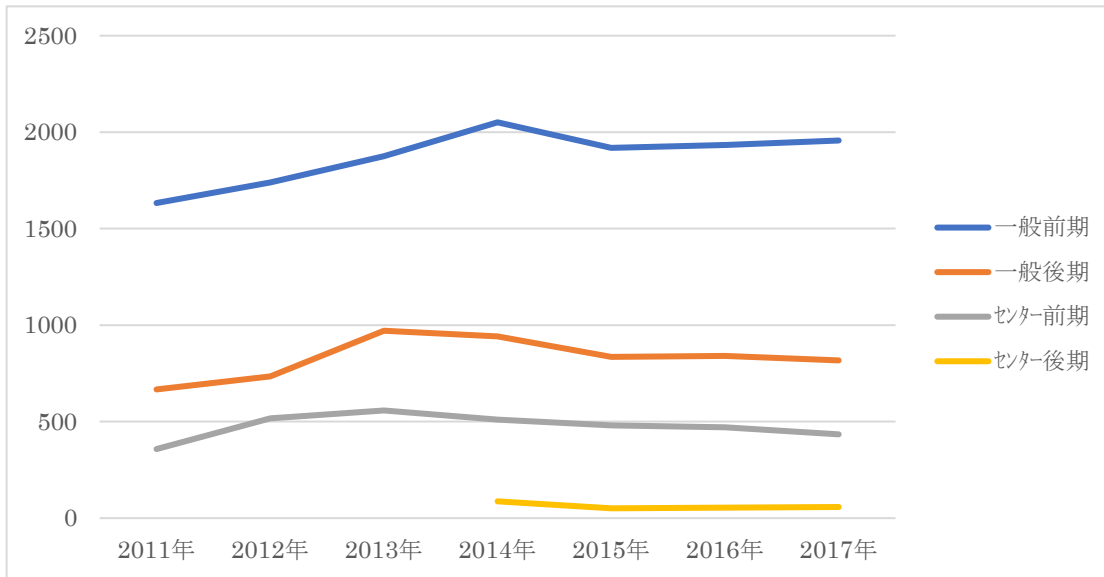
カッコ内は 2016 年度。

区分	配点	最高点	最低点
一般(前期)	400 (400)	328 (369)	233 (277)
一般(後期)	400 (400)	289 (273)	256 (245)
セ試(前期)	750 (750)	722 (718)	679 (678)
セ試(後期)	750 (750)	726 (692)	690 (682)

* 入学者の現浪別内訳 現役 18 人、浪人 95 人。

* 入学者の男女別内訳 男子 79 人、女子 34 人。

【志願者数の推移】



●小論文の内容

一般入試(前期・後期)・センター利用入試・地域枠入試・研究医枠入試とも2次で課す。詳細は非公表だが、例年、時事的・社会的テーマと医学・医療テーマの2つのテーマが与えられ、選択させている。

●面接の内容

一般入試(前期・後期)・センター利用入試・地域枠入試・研究医枠入試とも2次で実施する。詳細は非公表だが、一般前期は集団面接で、面接官は3名、受験者は3名、時間は約15分。一般後期とセンター利用は個人面接で、時間は約15分。志望の理由、なぜ医者になりたいか、高校での部活動、調査書の内容について、併願校についてなどが聞かれることが多いようだ。